

一般財団法人 日本民間公益活動連携機構 (JANPIA)
第 80 回理事会 議事録

1. 日 時 2025 年 8 月 8 日 (金) 開会 13 時 30 分
閉会 14 時 27 分

2. 場 所 東京都千代田区内幸町 2 丁目 2 番 3 号 日比谷国際ビル 314
JANPIA 事務所内 会議室

※JANPIA 事務所内会議室を起点に、各出席者の音声や映像が即時に他の出席者に伝わり、適時的確な意見表明が互いにできる仕組みとし、出席者が一堂に会するのと同等の相互に十分な議論を行うことができるという環境を確保した上で実施 (ZOOM を利用)

3. 出席者
理事長 二宮 雅也 [議長]
理 事 岡田 太造 清水 秀行 茶野 順子 鵜尾 雅隆
なお、理事長及び理事全員が ZOOM を利用して出席した。

監 事 土岐 敦司 柳澤 義一
なお、監事は ZOOM を利用して出席した。

事務局 鈴木 均 (シニア・プロジェクト・コーディネーター)
大川 昌晴 (事務局長)

4. 議 案
第 1 号議案 2024 年度出資事業における資金分配団体選定の件
第 2 号議案 2025 年度緊急枠 (第 1 次) 資金分配団体選定の件
第 3 号議案 助成事業 審査委員追加選任の件
第 4 号議案 資金分配団体 利益相反事案に対する措置の解除の件

5. 報 告
事業全般の運営状況について

6. 提出資料
資料第 1 2024 年度出資事業における資金分配団体選定の件
資料第 1 (別表) 2024 年度出資事業審査結果一覧
資料第 2 2025 年度 緊急枠 (第 1 次) 資金分配団体選定の件

- 資料第2 (別表) 2025年度 緊急枠 審査結果一覧
- 資料第3 助成事業における審査委員追加選任の件
- 資料第4 資金分配団体 利益相反事案に対する措置の解除の件
- 資料第4 (別紙) 公益財団法人 京都地域創造基金における「再発防止策」の実施状況について (2025年8月4日再確認)

7. 議事概要

13時30分開会、定款第42条により二宮理事長が議長となり、理事の現在数5名全員が出席しており、本理事会は有効に成立していることを確認し、開会を宣した。

なお、議事録署名人は、定款第46条第2項により、二宮理事長、土岐監事、柳澤監事となることを確認した。

(1) 議案審議

第1号議案 2024年度出資事業における資金分配団体選定の件

岡田専務理事より、資料第1に基づき、2024年度出資事業の資金分配団体の選定について、審査委員による申請書類一式の手元審査及び申請団体とのヒアリングを踏まえて2025年7月15日の投資審査会議において審査が行われ、本理事会への推薦団体・事業が確定したため採択についてご決議いただきたいこと、今回の公募では、申請のあった6事業（ファンド出資型5事業、法人出資型1事業、申請総額約44億5,000万円）の内、2事業（申請額合計10億円）の推薦を受けていること等の説明があった。

続いて、小崎出資事業部長より、審査の詳細について、2024年度の選定は伴走支援を重視したエントリーの仕組みを構築し、ワークショップ、事前エントリー、最終エントリーの3段階で実施し、結果として昨年度より質の高い申請につながったこと、今回申請のあった団体・事業それぞれについて、概要や選定・選定見送りに至った理由等の説明があった。

これに対する質疑応答は以下の通り

- (鵜尾理事) JANPIA の出資事業に対する理解の広がりを感じる。出資事業の今後の方向性について、理事が認識しておくべき点はあるか。
- (小崎出資事業部長) 社会課題の解像度をより高めるために、投資に強い組織と社会課題に強い組織が共同で提案できるような仕組み・仕掛けを設けるなど工夫していきたい。また、2025年度は試行的に劣後出資を導入する予定だが、大きなリターンが見込まれない領域でいかにLP（有限責任組合員）を確保していけるか検討する必要があると考えている。

以上の質疑応答の後、決を採ったところ、異議なく可決承認いただいた。

第2号議案 2025年度緊急枠（第1次）資金分配団体選定の件

岡田専務理事より、資料第2に基づき、2025年度緊急枠（第1次）資金分配団体の選定について、事務局にて申請書類の確認を行い、審査委員による申請書類一式の手元審査及び申請団体とのヒアリングを踏まえて2025年7月11日の審査会議において審査が実施され、本理事会への推薦事業が確定したため採択についてご協議願いたいこと、今回の公募には6事業の申請があり2事業（申請総額約5億6,000万円）の推薦を受けていること、2025年度の年度内予算残額は約29億4,000万円となること等の説明があった。

続いて、内田助成事業部長より、今回申請のあった団体・事業それぞれについて、概要や選定・選定見送りに至った理由等の説明があった。

以上の説明の後、決を採ったところ、異議なく可決承認いただいた。

第3号議案 助成事業 審査委員追加選任の件

岡田専務理事より、資料第3に基づき、審査委員については、審査会議規則第3条に定めるところにより、民間公益活動につき知見を持つ専門家または有識者の中から理事会にて選任されると定められていることから本件について諮ること、活動支援団体の審査への対応など審査実務の増加に対し、審査の質を確保しつつ適切な審査を実施していくためには審査委員の増員を進めていく必要があることを踏まえ、新たに1名の候補者について審査委員に求められる経験・知見等に関する報告があった。

候補者1名については、審査会議規則第3条4項に定めるところを踏まえての事前確認を行い、現時点において他の役職等の兼職による利益相反の状態にはない旨を確認済みであること等について説明があり、異議なく可決承認された。

氏名	所属等
鏑木 奈津子	上智大学総合人間科学部社会福祉学科 准教授

第4号議案 資金分配団体 利益相反事案に対する措置の解除の件

岡田専務理事より、資料第4に基づき、資金分配団体による実行団体公募選定における利益相反について、事業停止と契約解除等の措置が第69回理事会にて決議されたところであるが、2025年2月4日、及び同年8月4日に JANPIA 事務局長が現地を訪問し、再発防止策が日常の業務遂行上機能している状況が確認されたことから、その内容を報告するとともに、現在適用中の資金分配団体としての再選定の制限解除について、本理事会にてご協議願いたいこと等の説明があった。

続いて、大川事務局長より、当該団体の再発防止の詳細について、現地訪問によ

り、業務フローの見直し、ガバナンス強化体制の確立、利益相反回避のための体制面、運営面での改善等が確認できたこと、当該団体は、自団体の再発防止への取り組み状況をホームページ上に公開しており、自ら信頼回復に向けて対応している状況であること、JANPIA としても各団体向けの研修等で積極的に事例を取り上げ、本事案からの学びを広く共有するなど制度全体としての再発防止に努めていること等の説明があった。

これに対する質疑応答は以下の通り

- (茶野理事) JANPIA が適切に対応し、それに対して当該団体側も真摯に応えたということで、適正に対処いただけたと理解した。
- (清水理事) 当該団体には、制限解除後もコンプライアンス研修が形式的なものではなく、有効に機能するよう工夫して内外問わず実施いただきたい。研修を受講していなかったことから問題が発生する場合もあるため、JANPIA としても、他団体も含めて研修については厳しく対応していく必要がある。
- (柳澤監事) ガバナンスについては、研修も含めて「なぜそれを実施するのか」を理解することが結果として自団体を守ることにつながる。ただ単に研修を受講するだけではなく、受講者にその意味を理解いただけるような取り組みも必要。
- (土岐監事) 一度問題を起こしてしまった団体であっても、適切なガバナンス体制を整えれば再び助成を受けることも可能という意味では、一つの先例になった。

以上の質疑応答の後、決を採ったところ、異議なく可決承認いただいた。

8. 報告事項

(1) 事業全般の運営状況について

大川事務局長より、事業全般の運営状況について、能登半島沖地震への対応をはじめ、これまで休眠預金等活用制度を通じて行われてきた災害支援事業の取り組みを振り返り、今後の可能性を考えるトークセッションを2025年9月3日に開催すること、休眠預金等活用審議会の委員向けに休眠預金活用事業に係る意見交換と団体訪問を目的としたセミナーが開催される予定であり、事業の運営状況をご案内する予定であること、2025年7月4日に活動支援団体の2025年度公募説明会をオンラインで開催し、多くの参加があったこと等の説明があった。

続いて、内田助成事業部長より、休眠預金等活用制度を通じて社会課題解決に携わってきた関西に関りがある団体と企業との連携事例を紹介する成果報告会を2025年7月24日に開催し多くの参加があったこと、今回の経験も踏まえて同年11月14日に東京でマッチング会を開催すること等の説明があった。

以上をもって、ZOOMを利用した第80回理事会の議事は、終始異状なく本日の議事をすべて終了したので、議長は出席の理事、監事にその協力を感謝し、14時27分、閉会を宣言した。

上記の議事の経過及びその結果を確認するために、議事録署名人は、次に記名押印する。

2025年8月27日

一般財団法人 日本民間公益活動連携機構

議事録署名人（理事長） 二 宮 雅 也 ⑩

議事録署名人（監事） 土 岐 敦 司 ⑩

議事録署名人（監事） 柳 澤 義 一 ⑩

以 上